



ニュースレター

Vol. 38 – No. 3
5月– 6月 2026

デジタルコンサルタント

Rick Sinclair
Curtis Jeung

最新ソフトウェアバージョン

Central Station 3	- 2.6.1 (3)
Central Station 2	- 4.3.2 (4)
Mobile Station	- 5.6
Wireless MS	- 5.4.0.21

夏が近づき、多くの人が暑さをしのぐために地下室に鉄道模型のレイアウトを設置します。地下室は通常、家の他の場所よりも涼しいので、乾燥していればレイアウトを設置したり、鉄道模型を保管したりするのに最適な環境です。

覚えておくべき重要な点は、列車は人間と同じように、一般的に涼しく乾燥した環境を好むということです。屋内のクローゼットであれば保管場所として適していますが、屋根裏部屋はエアコンが設置されていない限り、非常に不向きです。暑い屋根裏部屋に保管された列車は、季節の変わり目における温度変化や極端な温度変化によって損傷を受ける可能性があります。

最初の記事は、古い機器の CS3/CS3+ との互換性についてであり、2番目の記事は「ソフトウェアバージョン 2.6.1 の変更点のレビュー」です。

メルクリンのウェブサイトを徘徊していたところ、「メルクリン技術速報」を発見しました。これらのいくつかは以前に読んだことがあり、その1つは CS3 プラットフォームと互換性のある機器に関するものでした。多くの人が以前のコントローラーからセントラルステーションに「移行」している一方で、まだ最初のデジタルコントローラー(6035 Control 80)を使用している人もいるのではないかと思います。Marklinコントローラ6021時代(およびそれ以降)の周辺機器には、CS3世代のコントローラでも使用できるアイテムが数多くあります。私は技術速報の1つを、露骨に盗用してここに転載しました。

CS3(60226)またはCS3+(60216)の購入者にとって重要な疑問点は、「以前のMarklin Digital システムの古いコンポーネントのうち、どれが引き続き使用できるか?」ということです。

概要は以下のとおりです：

品番

6001/ 6002 Transformers

60174・60175などのブースター用電源として使用可能。CS3/CS3+の電源には適しません。交流電圧で動作するランプなどのアクセサリに電力を供給するためにも使用できます。

60052 / 60055 Transformers

60174・60175などのブースター用電源として使用可能。CS3/CS3+の電源には適しません。交流電圧で動作するランプなどのアクセサリに電力を供給するためにも使用できます。

60061 / 60065 / 60045 Switching power supply - (お住まいの国の電源カタログを参照下さい)

H0またはNスケール用のCS3/CS3+に適した電源。

60101 / LGB 51095 / 61095 – 5 amp Switching power supply

5アンペアのスイッチング電源。1番ゲージまたはGスケール用のCS3/CS3+に適した電源。(H0/Nには適しません)。

60122 MS2-HUB

この機器はCS3システムでは使用できません。60125Terminalを介してMS2をCS3に接続することが可能です。

60123 Connection cable

CS3とCS3/CS3+、CS2とCS2、またはCS2とCS3/CS3+を接続するための接続ケーブルです。CS2のハードウェアバージョンが4.0より小さい場合、CS2はCS3+にのみにしか接続できないことに注意してください。

60124 Connection adapter MS

MS1またはMS2を60125Terminalに接続する時に必要です。

60125 Terminal

CS3/CS3+用のCANバスの標準デバイス。

60126 Extension cable

CS3/CS3+でTerminalを接続する際、Terminalケーブルを延長する時に必要です。60123の延長用としても使用できます。

60128 Connect 6021

CS3/CS3+で使用できます。

60135 Locomotive memory card set

CS3/CS3+で制限なく使用できます。

6015 Booster

mfx機能がないため、CS3/CS3+では使用できません。

6017 Booster

mfx機能がないため、CS3/CS3+では使用できません。

60174 Booster

CS3/CS3+で制限なく使用できます。

60175 Booster

CS3/CS3+システムにおける現行バージョン。

6020 Central Unit

CS3システムでは使用できません。

6021 Control Unit

Connect 6021(60128)により接続可能。6021に接続されている6035(Control 80)、6036(Control 80f)、6040(keyboard)、6043(Memory) も使用できます。システム全体で使える6021は1台だけです。ヒント: 6043を接続できますが、自動制御にはその代わりにCS3/CS3+のイベントを使用すべきです。

60212 Central Station 1

CS3システムとの互換性はありません。

60213 / 60214 / 60215 Central Station 2

CS3+では制限なく利用できます。CS3は、ハードウェアバージョン4.0以降のCS2(60215)のみしか使用できません。これらの出力段はブースターとして使用できます。

6035 / 6036 Control 80 / 80f

Connect 6021(60128)を介してCS3/CS3+に接続された6021 Control Unitに接続することで使用できます。

6040 Keyboard

Connect 6021(60128)を介してCS3/CS3+に接続された6021 Control Unitに接続することで使用できます。

6041 Switchboard

接続できません。

6043 Memory

Connect 6021(60128)を介してCS3/CS3+に接続された6021 Control Unitに接続することで使用できますが、現実的には、CS3/CS3+ のイベントを使用する方が便利です。

6050/6051 Interface

接続できません。

CS3/CS3+のLANポートを使用してコンピュータに接続します。

60821 Turnout Motor set for decoder m83

ポイントマシンモーター(ソレノイドは不可！)をデコーダーm83に接続する場合に使用。CS3/CS3+システムで使用できます。

60822 Universal Supply Unit

デコーダm83/m84にスイッチング電源(例: 66201/66360/66361/66366/66367) で電源供給する場合に使用。CS3/CS3+システムでも必要です。

6083 / 60830 Decoder k83

MMプロトコルで制限なく使用できます。

60831/60832 Decoder m83

前者はMM・DCCプロトコルで使用できます。後者はmfxプロトコルでも使用できます。

6084 Decoder k84

MMプロトコルで制限なく使用できます。

60841/60842 Decoder m84

前者はMM・DCCプロトコルで使用できます。後者はmfxプロトコルでも使用できます。

6088 / 60880 Feedback module s88

フィードバックモジュールL88(60883)を介しCS3/CS3+で使用できます。

60881 / 60882 Feedback modules s88 AC and s88 DC

CS3+に直接接続・使用できます。CS3の場合は、フィードバックモジュールL88(60883)を介し使用できます。

60883 L88

制限なく使用できます。

60652 Mobile station 1

CS3/CS3+の追加コントローラーとして使用できます。

60653 / 60657 / Trix 66950 Mobile Station 2

追加コントローラーとして制限なく使用できます。

6070 / 6071 IR- Receiver / IR- Transmitter

接続できません。

6073 Installation decoder k73 for M-Switches

MMプロトコルで制限なく使用できます。

6080 / 6081 / 6090 / 6090x / 6092x / 6093x / 6095 / 60952 / 60955

機関車デコーダー。引き続き、MMプロトコルで使用できます。

60942 / 60945-60949 / 6096x / 6097x / 6098x / 60906 New decoders

制限なく使用できます。mfxプロトコルでの使用を推奨。

6603 / 66031 / 66032 Delta module.

MMプロトコルで使用できます。

6604 / 66045 Delta Control

使用できません。ブースターとしての使用も推奨されません。

6607 / 6608 Delta Station

使用できません。

66201/66360/66361/66366/66367/66366 Switching power supply

- (お住まいの国の電源カタログを参照下さい)

フィードバックモジュールL88(60883)の電源。デコーダm83またはm84の電源としても使用できます(60822と併用する場合のみ)。

6477 / 66470 Transformer 32 VA (および、昔の青いトランス)

照明機器やアナログ機器への電源供給に限ります。例えば、ランプには再利用可能です。

74460 Turnout decoder C-Track

MMプロトコルで制限なく使用できます。

74461/ 74462 Turnout decoder C-track

制限なく使用できます。

74465 / 74466 Turnout decoder C-track

3分岐ポイント用。制限なく使用できます。

74467 Turnout decoder C-track

ダブルスリップポイント用。制限なく使用できます。

このリストの情報が、古いアクセサリ機器に関するガイダンスを必要とする方々のお役に立てば幸いです。

Enjoy your hobbies!

Rick Sinclair

ソフトウェア バージョン 2.6.1(ビルド 3)の変更点のレビュー

この記事では、CS3ソフトウェアアップデート2.6.1(ビルド3)で発見された注目すべき変更点について説明します。このバージョンは、バージョン2.6.0(13)で発見されたいくつかの問題を修正しています。

電源電圧設定

ソフトウェアのアップデートが完了している場合は、システムの出力量アンペア数の設定を推奨する情報ウィンドウが表示されることがあるかもしれません。設定はモデルのゲージ(スケール)に基づいています。**注*** - これは最初は V 2.6.0 で見られました。2.6.1 にアップデートするとダイアログが表示されなくなりましたが。

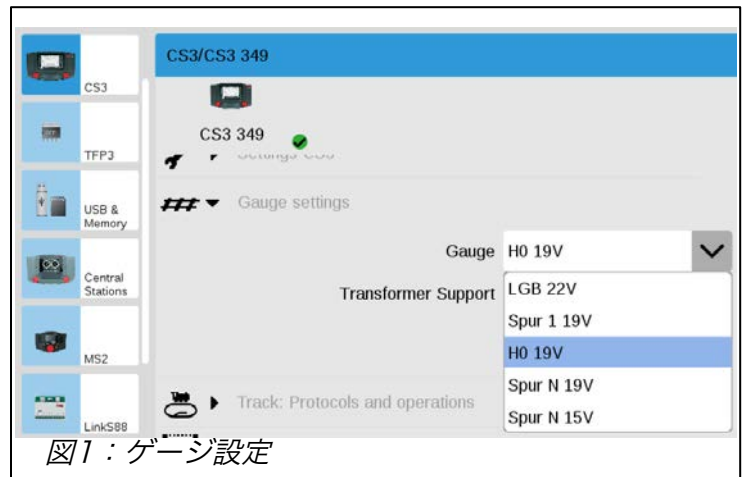


図1：ゲージ設定

電圧を設定するには、CS3 の場合は、System(システム)/CS3/Gauge Settings(ゲージ設定)パネルに移動します。プルダウンメニューからゲージ設定を調整できます(図1参照)。ここでの設定は電圧のみであることがわかります。使用しているパワーパックによっては、電圧スイッチがある場合があります。たとえば、60045 SMPP(スイッチモードパワーパック)には15Vまたは19V出力の設定があります(図2)。基本的に、この設定はハードウェア設定または定格出力に一致させます。

この設定の下には、Transformer Support(変圧器のサポート)のチェックボックスがあります。これを有効にすると、ポップアップウィンドウにCS3によって検出および登録されたブースターのリストが表示されます(図3)。SMPPではなくトランスで給電されているブースターのみを選択します。リストにはCS3がなく接続されているブースターのみが表示されることに気づくかもしれません。これは、CS3がトランスでは正常に動作しないためです。CS3はSMPPで動作する必要があるため、ブースターへの給電方法だけを選択します。



図2：電圧スイッチ付きSMPP

Flash(点滅)ボタンはテストとして使用されます。現在のどのデバイスにもトランスが接続されていないため、テストボタンがどのように反応するかを観察する機会がありませんでした。**(訳注：ブースターのパイロットランプが点滅します。)**

V2.6.0 の更新時に最初に表示されたテーブルをキャプチャできませんでした。CS3上でそれを見つけることができませんでした。基本的に、ゲージと電圧と電流の推奨がリストされていました。(私の記憶の限りで)まとめると、Gゲージは21V・5アンペア、1番ゲージは19V・5アンペア、HOゲージは19V・3アンペア、Nゲージは15Vです。

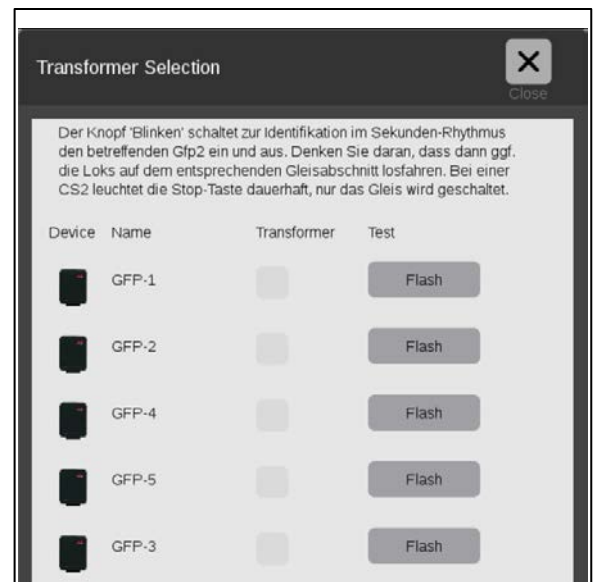


図3：トランス使用したブースターの選択

電圧/電流設定に関連する設定がある次のセクションは、System(システム)/CS3/TFP3(GFP3)/Settings(設定) パネルにあります(図4)。GFP3-1 デバイス (ブースター) の選択と、ゲージ、電圧、電流設定を一覧表示するPower Supply(電源)プルダウンメニューが表示されます。私が使用している2台のCS3(1台はレイアウトに接続され、もう1台は独立しています)では、プルダウンがグレー表示されていた。これは、無効になっていて選択できないか、設定がプリセットされていることを示唆しています。([注：前ページのCS3のゲージ設定が反映されていて、ここでは変更できないようです。](#))

これは、バージョン 2.6.0(13)で変更することができたのとは異なっており、バージョン 2.6.1(3)での意図的な変更の可能性があります。

アップデートアイコンの変更

バージョン 2.6.1(3)では、アップデートアイコンが変更されています。これにより、どこをクリックして更新を開始すればよいのかがわかりやすくなりました。この変更は、図5と図6に変更前後が示されています。アップデート実行ボタンの横に赤い点が表示されるようになりました。

重複機器の表示を更新

以前のバージョンでは、2つ以上の異なるレイアウト図に同じポイントを重複配置した場合、そのポイントの線路終端に番号が表示されていました。しかし、番号が何なのかが分かりにくく、混乱を招いていました。今回のアップデートでは、ポイントの線路終端がレイアウト図への参照ボタンが表示されるようになりました。これにより、ボタンをクリックするだけで、そのポイントが配置されている別のレイアウト図に移動できます。

図7では、別のレイアウト図上に複製されたポイントを示しており、リンクをクリックすると、ポイントのあるメインレイアウト図にアクセスできます。図7に示すように、単一のポイントを重複配置した場合、ポイントにつながった線路を表示することができませんでした。これは、レイアウト図の一部を別のレイアウト図に詳細表示しようとする場合、やや不便です。別のレイアウト図でセクションの詳細を作成するには、次の手順に従ってください：

- レイアウト図編集モードで、ボックス選択モードを選択します(図8)。
- 次に、別のレイアウト図または詳細なレイアウト図に複製したい領域を輪郭線で囲みます(図9)。



図4：TFP3/GFP3電源設定

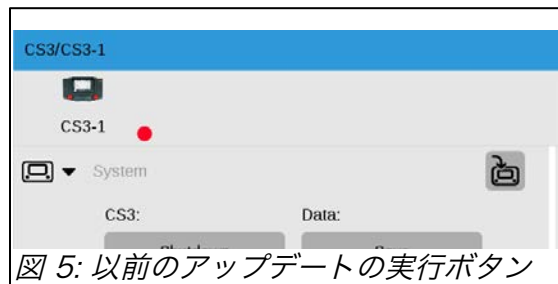


図 5: 以前のアップデートの実行ボタン



図 6: 新しいアップデートの実行ボタン

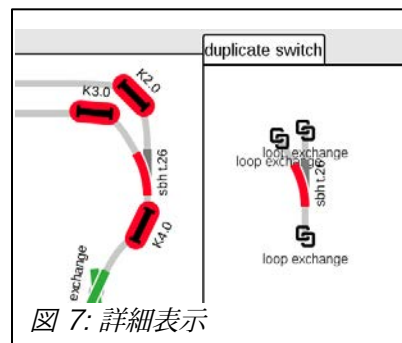


図 7: 詳細表示

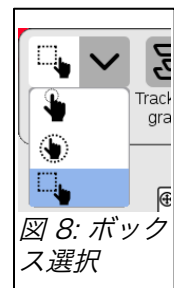


図 8: ボックス選択

- 'Track Diagram Area(セクション)'ボタンのプルダウンメニューにある 'Copy Selection to Other Section(コピー選択)' を選択します(図10)。するとポップアップウィンドウが表示され、コピー先として既存のレイアウト図を選択するか、新しいレイアウト図を作成できます。

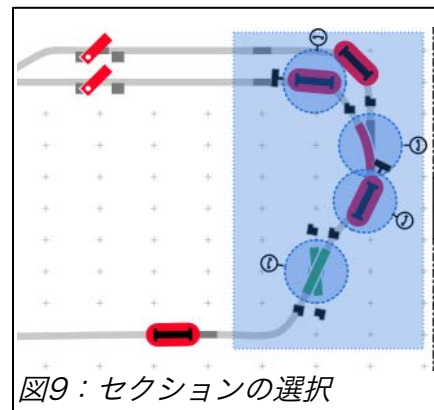


図9：セクションの選択

結果、選択された機器が新しいレイアウト図上に表示され、元のレイアウト図へのリンクボタンも含まれます(図11)。

バージョン2.6.1(3)アップデートにおける主な変更点は以上のとおりです。バージョン2.6.0で問題が発生していたユーザーの方々にとって、このバージョンでは報告された問題が修正されているようです。

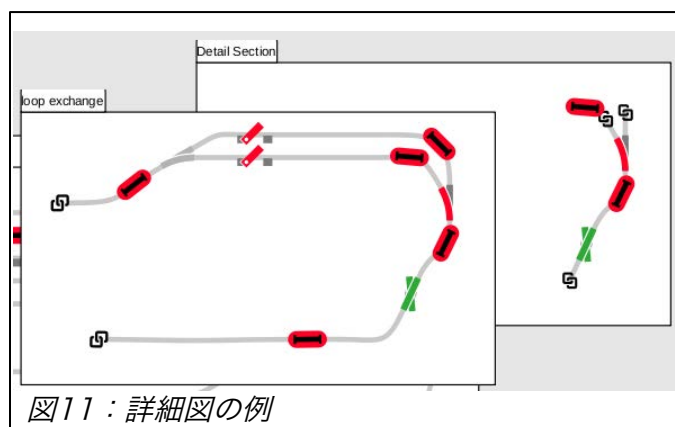


図11：詳細図の例



図 10: 選択範囲を他のセクションにコピー

Curtis Jeung

今後の予定：

- **ONLINE Webinar**
June 10
- **EuroWest (Rick and Curtis Special Guests)**
San Carlos, California
July 11 & 12
- **NMRA National Train Show**
Chattanooga, Tennessee
August 1 & 2

デジタル、技術、および製品関連について、リックとカーティスに質問するには：

Phone: 573-635-1093

Hours: Monday–Thursday 8:00 am – 4:00 pm and Friday 8:00 am – 12:00 pm CT.

E-mail: digital@marklin.com

Märklin Digital Club · 1406 Creek Trail Drive · Jefferson City, MO 65109

©2026 Rick Sinclair, Curtis Jeung@Märklin, Inc.

Translated by H.Inoue@The Maerklin Chuff-Chuff Club of Nagoya.